



消費生活の安定及び向上にむけた県民提案事業

## 「リコール製品」を知らずに使っていませんか？ ～「身近な危険」をチェックして安全・安心・長生き！～ In 船橋

船橋市においてリコールアンケートを行いました。船橋市では現地の団体に依頼するのではなく、市内の老人福祉施設に訪れる皆さんにアンケートの回答をお願いしました。

市内5箇所の施設を、拝師事務局長、石川弁護士、井原弁護士、消団連小田川さん、県生協連常泉さん、千葉県消費生活相談員の会久光さん、同じく会長小島さん、日野先生等皆さんが訪問市アンケートを配布し趣旨説明をして1週間後に回収に行くというたいへんな活動をしました。(お疲れ様でした！)

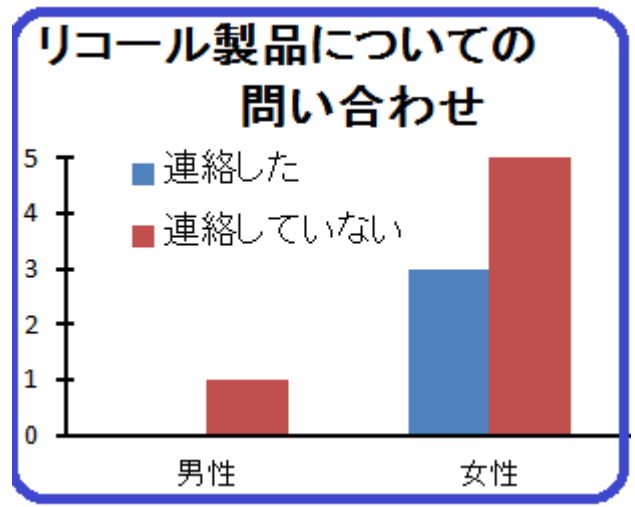
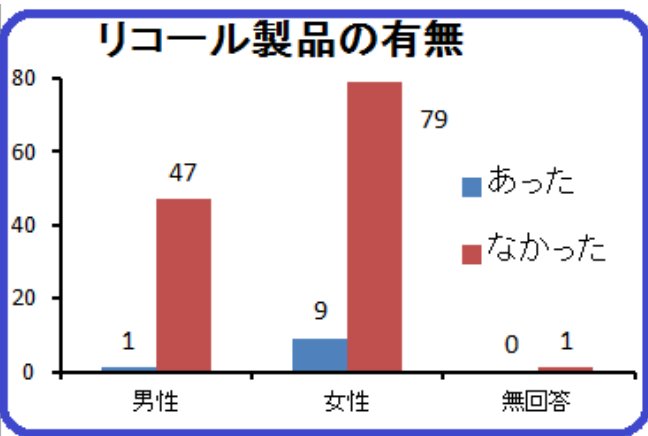
カラオケやレクレーションを楽しみ訪れる皆さんに関心を持ってもらうのは大変だったとのことでした。しかし「拝師先生と一緒に船橋市南老人福祉センターへリコールアンケートの説明に行ってきました。

配布枚数47枚、その場回収17枚、残り23枚はセンターに預けました。対応していただいた山口所長さんがとてもよい方で、事前に朝も来館者にアナウンスしてくれており、説明開始前にも全館放送してくれて

多くの方に伝えていただきました。また、センター内に入っている「老人クラブ連合会」(268グループ所属)と地区社会福祉協議会も紹介いただき、今後機会があれば協力を仰げるきっかけを作っていただきました。(H2年11月20日、県生協連常泉)」などの報告もありました。

ご協力頂いた船橋市の担当職員の皆さまに深く感謝いたします。また行政との調整に奔走された船橋市消費生活センターの相談員の千葉県相談員の会の小島会長、お疲れ様でした。

アンケート回答者	
男性	48
女性	88
無回答	1
合計	137



※連絡しなかった理由の多くは「廃棄した」

### 東金市、船橋市のアンケート結課から

1. 回答率について東金市の方が高かった。長寿会という組織の緊密性が好影響か。他方船橋市については、通常のアンケートに比べれば高い方とはいえ回収率は低調だった。カラオケに来るお年寄りに時間をとって頂いたため、一度もち帰って再度持ってきてもらうという手間が原因か。
2. リコール製品街頭件数は東金28名、船橋10名であり、火災等の結果の重大性から考えれば無視できない数字。この点では一定の成果があったと評価できるのではないか。
3. 問題は、リコール製品に該当することを認識しながら手続きをとらなかった人が相当数いること。廃棄、手続きをとることの程でもない。という方はともかく、東金市では「手続きの仕方がわからなかった」方の比率が大きい。東金市では配布時に詳細な説明ができていなかったことが影響したのではないか。船橋では配布時にご本人たちに直接説明していることがよかったのではないか。